

中野会長 インタビュー

神奈川県立高等学校PTA連合会会長の中野真衣子さんに、ご自身のこと、PTAのことを話していただきました。

— 中野会長のPTA経歴を教えてください。

子どもが小学生の時に「子ども1人につき1回PTAのお手伝いをしてください!」ということで、PTA役員デビューしました。中学、横浜平沼高校では2人の娘がお世話になったので会長を務めました。その後高P連から声がかかり昨年度まで副会長として活動しました。

やらされるのではなく、できる人が楽しんでやるという発想で続けてきましたが、今回は重責を感じています。

— 最近の高校生を取り巻く状況についてどのようにお考えですか。

昨今の高校生を取り巻く状況はとても複雑になっています。ネット社会におけるSNSの問題や人権問題、また人工知能(AI)の進化による新たな価値観の創造など、価値観が多様化し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むことがとても大切です。生きる力・生き抜く力を、身に付け、育てる教育を支援したいと思っています。

— 中野会長からみるPTAの必要性は？

目まぐるしく変わる社会情勢の中、保護者と教職員の皆様が相互理解を深め協力しあえる関係性を作り、どのように生徒たちの健全育成を支援するかを一緒に考え、サポートしていく。このようなPTAの活動は今の時代だからこそ、とても有効で必要だと感じています。

— 中野会長が高P連の会長として目指すものは何ですか。

生徒たちが健やかに学校生活を送ることができるようにPTAとして常に考えていきたいと思っています。

そのためにアンケートの結果等をしっかりと考察し、教育行政や関係諸団体との連携の強化を大切に時代のニーズを踏まえた体制づくりを考えています。

生徒たちが未来に大きな希望を抱き、夢をみつけ、自己肯定感を高め、自らの人間形成を行うための環境整備、そして自分らしく生きていけるように、様々な才能を伸ばしていく手助けも私たちPTAの役目だと思っ



ています。また、コミュニケーションや自己肯定感、キャリア教育などを学ぶ機会は、大人の私たち保護者もどう生きるか、生き方というテーマを考えるきっかけになると思います。

生徒たちを守り、サポートするための健全育成活動と会員の皆さまの役に立つ「学びの場」を提供し、生徒たちと一緒に成長して行く「学び、行動するPTA」を目指しています。

皆様も一緒に成長していきましょう。これからもご協力をお願いいたします。

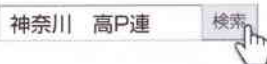
PTA活動に関するアンケート

各校のPTA活動や高P連の活動に関するアンケートです。この広報紙を手にしているPTA会員の方すべてが対象です。右のQRコードを読み取っていただき回答ください。読み取れない場合は、高P連ホームページまでアクセスしてください。



■高P連ホームページのご紹介

神奈川県立高等学校PTA連合会はホームページで各種情報提供を行っております。ぜひアクセスください。(スマートフォンでもアクセスできます)



神奈川県立高等学校PTA連合会 平成30年度定期総会

平成30年6月10日にパシフィコ横浜において、平成30年度神奈川県立高等学校PTA連合会総会が各校PTA会長、学校長が多数出席し開催された。高P連会長、校長会議代表、教育長、安全振興会理事長からのあいさつの後、29年度まで各PTAで活躍され退任された方々99名に感謝状が贈呈された。教育委員会各課より、教育行政及び高等学校教育に関する近況の説明があったのち議事に移り、平成29年度の活動報告では、事業報告、決算の説明のほか平成29年度に初めて実施された「健全育成分科会」の活動について、5つの分科会からそれぞれ活動報告があった。30年度の活動計画案は、スローガン「学び、行動するPTA」として昨年に引き続き、健全育成、生涯学習等に力を入れた事業計画が提案され賛成多数で承認された。また、第2号議案で役員定数、理事定数の改正が行われ、役員は1名減の12名、理事は専門教育部会の部会長を理事に含めないとし、1名減の10名とすることが決定。総会の構成員から新たな議案が提出されるなど、活発な議論が行われた結果、総会は約5時間に及ぶものとなったが、中野真衣子新

会長を含む役員12名（内、現役PTA会長2名）、各地区協議会会長の理

事10名で大きな拍手とともに平成30年度のスタートを切った。

平成30年度 定期総会 成立要件と主な承認事項

【出席者】

PTA会長	116名
学校長	118名
役員・理事	24名
委任状	40通
合計	298名
総会員数	307名

【決議事項】

- *平成29年度事業報告・決算報告・監査事項
- *規約改正・細則変更報告
- 役員・理事の定数削減、再任回数設定、会費納入期日改定
- *平成30年度 役員選任
- *平成30年度 活動方針・スローガン・ミッション
- *平成30年度 事業計画（案）・予算（案）

	項目	収入	支出	差額(繰越金)
平成29年度 決算	一般会計	29,024,136	24,714,339	4,309,797
	研修事業会計	5,181,340	5,181,340	0
平成30年度 予算	一般会計	29,329,797	29,329,797	0
	研修事業会計	8,742,911	8,742,911	0



総会で退任した
大石前会長



平成30年度神奈川県立高等学校PTA連合会 役員・理事紹介

後列左から

俣士理事（川崎）、大石顧問、玉地理事（横浜北）葛山副会長、渡邊監事、小関理事（相模原）大串監事、石倉理事（湘鎌）、原理事（県央）、長副会長、馬場副会長、位田副会長、廣川理事（横三）



前列左から

飛澤理事（横浜南）、安田理事（県西）、静井顧問、渡邊理事（横浜中）、内田理事（平秦）、佐藤総務、中野会長、海藤総務、廣間会計、吉井会計、山下顧問、佐々木総務

2年ぶりの研修大会が盛大に開催される

平成30年7月1日、各校から1,000名近い参加者が集まり2年ぶりに研修大会を開催しました。午前中は全体会として、(株)リクルートマーケティングパートナーズ「キャリアガイダンス」編集長の山下真司氏をお招きし、「教育改革を見据えた新たな学びの展望」として、混乱の時代に生まれ、急速な進歩の中で過ごしている今の高校生は何を感じ、思い、過ごしてきたのか。これからの社会の変化をどう捉えているのか。また、保護者はそんな子どもたちとどう向き合っていけばいいのか。最新の意識調査の結果を踏まえご講演いただきました。

午後は、5会場に分かれ分科会を実施。第1分科会は「人権教育」として、自己肯定感、想像力・共感的理解、コミュニケーション能力について意見交換。第2分科会は「ネット・サイバー犯罪対策」として、その実態の情報共有と共に高校生がかかる恐れのあるサイバー犯罪やインターネット上のトラブルについて講演。第3分科会「防災教育」は、災害時、想定外を生き抜くために自らの判断で主体的に行動できる人材をどう育成するか、地域社会の防災・減災体制に対しどのような役割を担っていけばいいのかを講演いただきました。第4分科会は、平成29

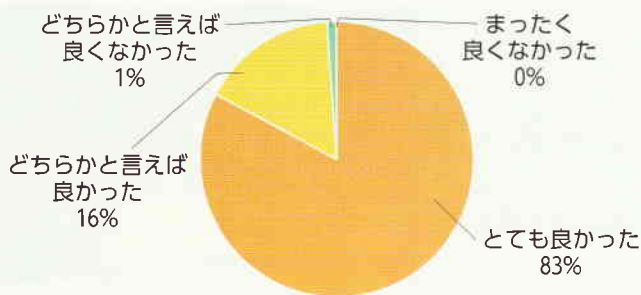
年7月に行われた関東地区高等学校PTA連合会神奈川大会で好評だった、「自己肯定感とは何かを学び、やる気の育成を支援する」の研修大会バージョン。様々な角度から親子のコミュニケーションについての悩みを解決するヒントを探りました。第5分科会「PTA活動支援」として、PTAの円滑な運営の構築のためにはどうしたらよいか、グループディスカッションを中心に、各校の実態などの意見交換が行われました。

アンケート結果からも参加者から、「参加してよかった」「研修大会はためになるから続けてほしい」等の意見がありました。

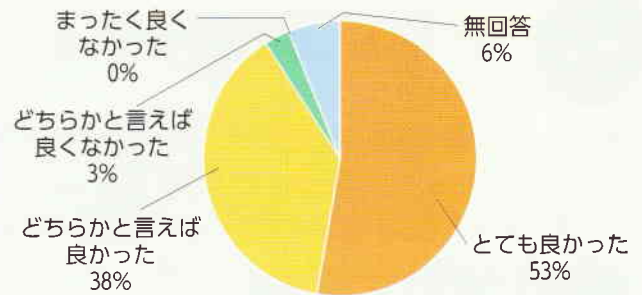
研修大会分科会

分科会	テーマ	講師
第1分科会 「人権教育」	PTA活動と人権	県教育委員会教育局 行政部行政課人権教育グループ
第2分科会 「ネット・サイバー犯罪対策」	サイバー犯罪の現状とネット社会での安全確保	神奈川県警本部生活安全部サイバー犯罪対策課 情報セキュリティアドバイザー 外野智喜氏
第3分科会 「防災教育」	防災・減災教育の推進	静岡大学防災総合センター センター長 教授 岩田孝仁氏
第4分科会 「自己肯定感の醸成」	自己肯定感とは何かを学び、やる気の育成を支援する	株式会社東京個別指導学院講師陣ほか
第5分科会 「PTA活動支援」	PTAの円滑な運営の構築	高P連 県教育委員会教育局生涯学習部生涯学習課

全体会(講演)の感想について



分科会の感想について(全分科会合計)



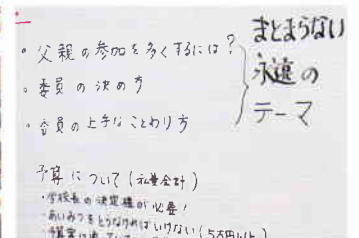
中野会長



全体会講師 山下真司氏



第4分科会



第5分科会

第56回神奈川県立高等学校PTA連合会大会

今年も感動と笑いの県高P連大会

大会は平成30年12月1日にパシフィコ横浜会議センターにて、昨年同様、広報紙コンクール表彰式、広報紙表紙コンクール表彰式を集約する形で開催された。「学び・伝え・活かす」をテーマとした大会は約1,000人が参加し盛大に行われた。

開会式、高P連関連の表彰に続き、安全振興会の作文コンクールの最優秀賞を獲得した大和西高校、大船高校の生徒の朗読が行われた。高校生の新鮮な視点からの作文は安全や健康の大切さを再確認する契機となった。

広報紙コンクール・「表紙」コンクール表彰式では、多くの応募作品の中から、PTAとして必要な情報を伝えるとともに、企画・デザイン性・インパクトなどを総合的に判断して評価された広報紙を作成したPTAが表彰された。

今年度も広報紙コンクールの表彰

式は、受賞校に事前に受賞の事実のみを伝え、式で各賞を発表するという形式がとられた。

最優秀賞に選ばれた大船高校の広報紙「青船」の特集は自己肯定感。アンケート結果をわかりやすく紹介し、生徒と保護者による座談会も詳報するなど多角的に掘り下げた点などが高く評価された。

午後の講演は、国際政治学者・東京大学政策ビジョン研究センター講師の三浦瑠麗氏により、「グローバル化時代を生き抜く個人と社会」をテーマに行われた。これからも大きく変化していく社会で生きていくために、私たち保護者が感覚をアップデートして、高校生が適切な世界観を持てるようにサポートしていくことの重要性が共有された。

地区大会発表校の代表2校の発表は各校の特徴が伝わる素晴らしいものであった。

山北高校は、参加したくなるPTAを目指して様々な活動を行っている様子を発表した。防災備蓄倉庫の備品整理に関する取り組みは、他のPTAにも大変参考となった。

元石川高校のPTAがアントレプレナーシップに関する授業を受けて、商品の開発と販売をしてみると



いう取り組みは大変興味深いものだった。

県大会分科会は健全育成分科会の3つのテーマに事業計画に掲げた「キャリア教育」「健康的な生活習慣」とアンケートで会員の皆様の関心が高かった「コミュニケーション」を加えた6つのテーマで行われた。各分科会ではテーマに基づく講演や討議により参加者の理解を深めることができた。

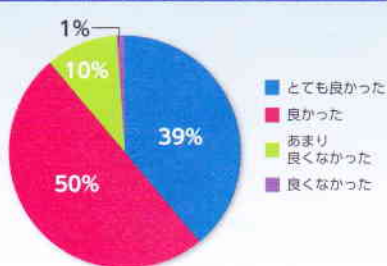
情報交換会は、地区を越えてPTA活動について語り合い、親睦を深めるための有意義な時間となった。

各大会を集約する形も軌道に乗り、大きなトラブルなく終わることができた。アンケート結果を踏まえて、今後も良い大会だったと評価されるようにしていきたい。



する必要があると続けた。最後に、学校教育と家庭への意味合いとし、強制と切り捨てではなく包摂の思想を持ち、親が自立と自制心を教えるべき。国際化を図り、様々な背景と能力を持つ父母の力を得る事も大切だと話した。三浦氏ご自身についての話も交え、好評裏に終了した。

県大会全体の感想



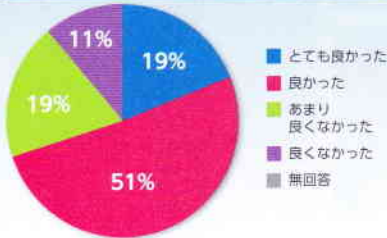
講演

グローバル化時代を生き抜く個人と社会

講演は、県立湘南高校の卒業生で国際政治学者の三浦瑠麗氏に依頼した。まず、激変する国際情勢と日本の役割についての話があった。AI時代の到来でIoTを生かした職住環

境が今後20年で劇的に変化する。そのような中で日本人の生きるスペースを創出する努力が不可欠であると語る。次に、日本人は自分の物差しで相手を測り、常識から外れている人(異端児)を非難する傾向がある。このような行為が異端児をつぶしてしまう恐れがある。異端児は日本ではそのような常識から目立たないが、海外ではその才能が認められ成功している。異端児をつぶさない社会を作るには、相手の個性を尊重

講演会の感想



事例発表

山北高等学校PTA

「参加したくなるPTAを目指して」

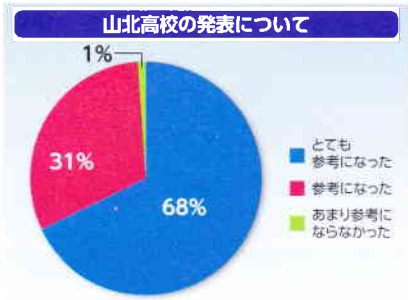
「参加してみたくなるPTAをめざして」をテーマとした…との紹介で始まったが、マチュピチュの空撮風景が映し出され、一瞬にして目が釘付けになった。ナレーションと相まって、山北高校の立地の表現が斬新だった。



PTA活動紹介の動画に生徒や先生も参加しており一体感があつた。

また、子どもたちのためとの思いからボランティアとともにいった30年経過していた防災備蓄品の処分は、地域防災の啓発にもなると好評を博していた。

各校での防災への取り組み方の参考になる発表だった。



元石川高等学校PTA

「生徒もするアントレといふものをPTAもしてみんとてするなり」

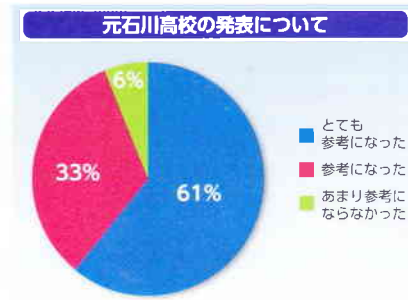
PTA会長による軽快な語りの活動紹介は大変聞きやすく引き込まれるものだった。

クリスマスの飾りの購入資金を生徒会へ寄付するため



に生徒と一緒に「アントレプレナーシップ」に参加してマーケティングの授業を受け、オリジナルクリアファイルを制作・販売してゆく経過が分かりやすくまとめられていた。

生徒と一緒にの活動であることや、単なるサクセスストーリーではないところがよいとの講評だった。



広報紙コンクール

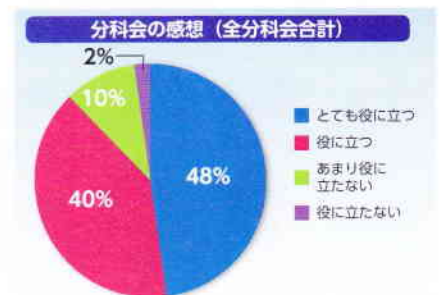
笑いあり、涙あり、感動の「広報紙コンクール」最優秀賞は大船高校！

<p>最優秀賞 大船高校</p> <p>広報紙には学校の「今」を切り取り、後世に伝えていくという重要な使命があると感じながら、日々、取材編集に走り回っております。</p>	<p>表紙コンクール優秀賞 生田東高校</p> <p>表紙づくりでは、生徒の生き生きとした表情を写し出すよう心がけています。</p>
<p>優秀賞 神奈川新聞社賞 鶴見高校</p>	<p>優秀賞 県教育委員会教育長賞 西湘高校</p>
<p>優秀賞 高P連校長賞 座間高校</p>	<p>優秀賞 安全振興会賞 神奈川総合高校</p>
<p>奨励賞</p> <p>新城高校 藤生総合高校 鶴岡高校 弥栄高校 相模原中等教育学校</p>	<p>安全振興会写真賞 生田東高校</p> <p>写真賞 音高校</p> <p>企画賞 七里坊高校</p> <p>編集賞 上矢部高校</p>

分科会



分科会	テーマ	講師／ファシリテーター
第1分科会「防災教育」	災害時の通信手段について	NPO法人かながわ311ネットワーク 災害教育・防災教育担当理事 石田真実氏
第2分科会「自己肯定感の醸成」	自己肯定感を考える。保護者から始めよう!	健全育成第2分科会メンバー
第3分科会「人権教育」	LGBT Allyになろう!	日本セクシュアルマイノリティ協会 認定講師 井上伸郎氏
第4分科会「キャリア教育」	キャリア教育における保護者の役割	ソーシャルデザイン研究所 池田千恵美氏
第5分科会「コミュニケーション」	情報社会と親子のコミュニケーションについて	ジャーナリスト 石川結貴氏
第6分科会「健康的な生活習慣」	高校生の食育や睡眠について考えよう	神奈川県立高等学校PTA連合会 顧問 山下純夫



分科会資料の一部は高P連ホームページで公開しています。

健全育成分科会活動中！ 健全育成分科会のご紹介

高P連では、これまでの会員アンケートの結果を踏まえ、平成29年度の事業計画において青少年を脅かす問題を防ぎ、解決する手段を検討することを目的として、健全育成事業

を展開している。

29年度はそのスタートとして、①防災教育、②自己肯定感、③保健安全教育、④人権教育、⑤ネット社会における情報セキュリティの5分科

会を設置し、各校のPTA会長を中心に分科会員を募集、各分科会での調査、研究等を行ってきた。

2年目となる今年度は、昨年度の実績を踏まえ4分科会を設置、分科会員を各校PTA副会長までとし、活動を行っている。

健全育成分科会一覧

分科会	これまでの活動実績／予定
第1分科会 「防災教育」 高校生の判断力・危機管理能力を育てる防災教育の支援。 高校生の防災・災害に対する意識を調査し、現状を把握して防災教育に役立てる。	・教育委員会講演「高等学校における防災教育の現状について」 ・県大会分科会（第1）企画、運営 ・防災対応シート作成、各校配付（平成31年3月予定）
第2分科会 「自己肯定感の醸成」 高校生が明るい未来を描き、社会を生き抜く力を醸成する活動の支援。 自己肯定感の醸成とは何かを理解し、その効用を明確にする。	・講演「自己肯定感をあげるために」 ・県大会分科会（第2）企画、運営
第3分科会 「保健安全教育」 薬物対策：薬物に関する具体例から現状を把握し、対応策を検討する。 食育：生きるための基本的な知識と選択する力を習得し、健全な食生活を実践する。	※分科会活動としては開設見合わせ、高P連役員にて対応 ・県大会分科会（第6）企画、運営
第4分科会 「人権教育」 青少年の貧困：貧困の実態を理解し、支援方法について考える。 売春・JKビジネス・DV等について現状を把握し対応策を検討する。 マイノリティー：正確な知識を持ち、適切な情報やメッセージを伝える。 インクルーシブ：現状を把握し、すべての子どもたちのための教育理念を理解する。	・県大会分科会（第3）企画、運営 ・勉強会（LGBT啓発映画上映等）実施（平成31年3月23日開催）

各分科会平成30年12月までは、県大会の企画、運営を中心に活動。現在は勉強会の開催等今年度の活動についての取りまとめに入っている。各校へもホームページ等を通じて活動内容を報告しているため是非チェックしていただきたい。

予告

2019年4月より、 新制度「生徒総合補償制度」がスタートします！

保護者の皆様へ

向春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。会員の皆様方には、日頃から神奈川県立高等学校PTA連合会の活動にご理解ご協力を頂き感謝申し上げます。

さて、神奈川県立高等学校PTA連合会では、この度、会員の皆様の日常生活の安心の一助となるよう「生徒総合補償制度（団体総合生活保険）」を立ち上げる事となりました。

2019年4月よりスタートする本制度は、神奈川県立高等学校に通われている生徒様を対象とした24時間補償の傷害および賠償補償です。各自治体で義務化の検討が進められている自転車の加害事故に備えた個人賠償責任補償や、扶養者様の万が一に備えたプランもございます。

なお本制度は神奈川県立高等学校PTA連合会を契約者とした団体契約で、多くの方にご加入頂く事で掛け金を割安にご提供しております。



3月中旬頃に、生徒・保護者の皆様に『新制度ご案内チラシ』を配布予定でございます。ご関心のある方は、チラシ記載の代理店までパンフレットおよび加入依頼書をご請求下さい。

神奈川県立高等学校PTA連合会 会長 中野 真衣子

〈引受保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社
 横浜中央支店 金融公務課

2018年12月作成 18-TC02031

教育委員会の掲示板

「かながわ教育月間」

県教育委員会では、かながわ教育ビジョンの理念の実現に向けて、県の教育の充実・振興に資するため、「かながわ教育月間」を設定しています。

平成31年度は、10月から11月上旬までの1ヶ月程度。期間中には、県民の皆さんとかながわの教育について考える「かながわ人づくりコラボ」をはじめ、県内各地で様々な教育に関するイベントが開催されますので、ぜひお出かけください。

かながわ教育月間

県立高校改革

県教育委員会では、すべての県立高校で、計画に基づく改革に取り組んでいます。昨年は、学習指導要領の改定に対応した研究開発校の指定など、現行計画の充実を図りました。また、2020年度から4年間の計画を策定し、インクルーシブ教育実践推進校の拡大、他校通級指導導入校の指定、舞台芸術科や建設科の新設等の学科改編、4組8校の再編・統合等に取り組みます。引き続き、PTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

神奈川 県立高校改革

寄附のお願い

「まなびや基金」「奨学金基金」

①まなびや基金は、より一層快適な学びの場を提供するため、県立学校の物品購入・改修工事など、教育環境の整備に活用しています。

②奨学金基金は、学資を必要とする高校生等への奨学金の貸付けに活用しています。

皆さんのご協力をお願いします。 ※詳しくは各ホームページをご覧ください。

【問合せ】県教育委員会財務課
電話 ①(045)210-8105
②(045)210-8251

2019年度 高校生等奨学給付金のご案内

授業料以外の教育費負担を軽減するため、要件を満たす世帯に給付金を支給する制度があります（返還不要/申請が必要）。

要件
2019年7月1日現在保護者が県内在住で、生活保護受給世帯又は保護者全員の住民税所得割額が非課税である世帯

神奈川県高校生等奨学給付金

【問合せ】在学する高等学校等又は県教育委員会財務課
電話(045)210-8251

神奈川県立学校に係る部活動の方針

県教育委員会は、平成30年4月に本方針を策定しました。本方針を受

け、全県立学校では、スポーツ障害やバーンアウトの予防、生徒のバランスのとれた生活と成長の確保といった観点から、週当たり平日及び週休日各1日以上休養日を設定するなど（大会やコンクール等で定期的な休養日を取ることが難しい場合は、年間各52日以上の休養日を柔軟に設定することが可能）、適切な部活動の運営に取り組んでいます。

インクルーシブ教育実践推進校の拡大について

県では、県立高校改革の一環として、知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を拡大するため、茅ヶ崎高校、厚木西高校、足柄高校をインクルーシブ教育実践推進校に指定し、取組を進めてきました。2020年度からは、県内すべての地域から通えるよう新たに11校を指定して、計14校で、すべての生徒が、相互理解を深めながら成長し、共生社会の担い手となるように取組を進めていきます。皆さまの一層のご理解とご支援をお願いします。

スマートフォン等の適切な使用について

高校生のスマートフォン等でのインターネット利用が広がる中で、犯罪に巻き込まれたり、不適切な書き込みが人間関係のトラブルに発展するなど、さまざまな問題が多発しています。問題の未然防止のために、

フィルタリング設定や利用時間など、スマートフォン等の使用に関するルールについて、ご家庭での話し合いをお願いします。
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/vn7/ont/f300473>

一人で悩まないでご相談ください！

いじめや不登校など様々な悩みは県立総合教育センターの教育相談へ

【24時間子どもSOSダイヤル】
電話 0120-0-78310
0466-81-8111
24時間365日受付

【不登校ほっとライン（電話相談）】
電話 0466-81-0185

月曜日～金曜日 8:30～21:00
土・日・祝休日 8:30～17:15
(12月29日～1月3日を除く)

【Eメールによる相談】
soudan@edu-ctr.pref.kanagawa.jp

生涯学習情報を提供しています！

県立図書館の生涯学習情報コーナーでは、豊かな人生を実現する「生涯学習」を進めるための様々な資料を取り揃えています。学習相談員に相談もできますので、ぜひご利用ください。また、「PLANETかながわ」でも、生涯学習に関する情報を検索できます。併せてご利用ください。

【問合せ】
県立図書館広報・生涯学習推進課
電話(045)263-5916

PLANETかながわ

神奈川県立（東部・西部）総合職業技術校からのお知らせ

「手に、職。」が未来を変える。

かなテクカレッジで「プロの技術」を学び、ものづくり現場（航空・自動車産業等）等で働くプロフェッショナル（正社員）を目指そう。



地域から、コースから、自分にあった「かなテク」を選べます。

神奈川県内2校の東部総合職業技術校・西部総合職業技術校では、3分野（工業技術・建築技術・社会サービス）・全24コースで、仕事に必要な知識・技術を身に付けます。さらに、就職専門スタッフを配置して就職活動をサポートします。

3分野・全24コース

工業技術	精密加工エンジニア、ICTエンジニア、電気、コンピュータ組込み開発 など
建築技術	建築設計、造園、木材加工 など
社会サービス	ケアワーカー、給食調理など

4月生の募集（2020年）

募集の種類	申込期間
若年者等	2019.10.7～11.5
I期	2019.11.29～12.9
II期	2020.1.6～2.3

就職率
96.6%

かな
テク

スタッフによる職業相談や職業紹介できめ細かく就職をサポート。

体験入校

予約必要 無料
希望コースを2時間で体験

オープン
キャンパス

予約不要 無料
校内見学と個別相談

バーチャルオープン
キャンパス

VR動画でチェック！



かなテクカレッジ東部

（東部総合職業技術校）

TEL 045-504-2810

横浜市鶴見区寛政町 28-2



かなテク 東部



で検索

かなテクカレッジ西部

（西部総合職業技術校）

TEL 0463-80-3002

秦野市桜町 2-1-3



かなテク 西部



で検索

安全振興会報

一般財団法人
神奈川県立高等学校
安全振興会

会費・見舞金・修学奨励金給付

2018（平成30）年度評議員会にて、2019年度会費等について次のとおり決定された。

近年の生徒数の減少と見舞金等請求件数及び給付額の増加に伴い、今後の安定した運営の継続と充実のために、事業内容の見直しを行った。

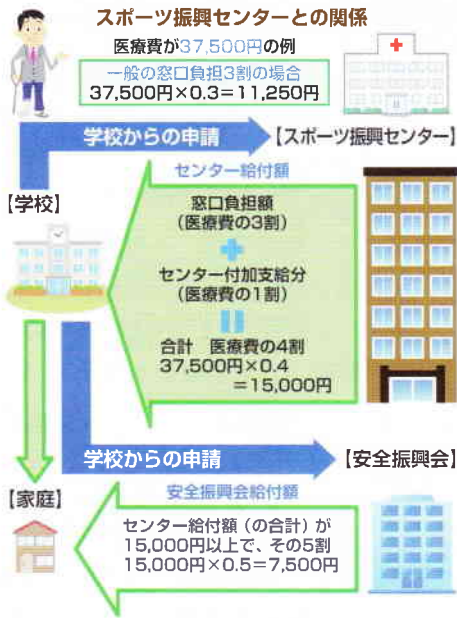
会費合計額変更なし

年額の会費額は変更無し。高等学校全日制及び中等教育学校1200円、定時制600円、通信制180円（詳細は、ホームページにて掲載）

見舞金給付率の変更

死亡・障害・負傷等見舞金

※義歯見舞金・特別見舞金及び供養料については変更なし。



※2019年3月31日以前に発生した災害については、従来通り死亡見舞金・障害見舞金はスポーツ振興センターの給付額の7割、負傷等見舞金は6割

医療機関での窓口負担無しへの給付改善（注1）

医療機関での窓口負担無しの場合、スポーツ振興センター医療費給付額は、センター付加給付分である医療費の1割のみである（窓口負担3割の場合は医療費の4割）。そこで、2019年4月1日以後に発生した災害について、窓口負担無しの場合、スポーツ振興センター給付額の4倍を給付額とみなし、その額が15000円を超えた場合、その5割を給付する。これにより大幅な給付改善となる。

会費減額制度の廃止

医療機関での窓口負担無しへの給付改善に伴い、共済規程を改定し、会費減額制度及び会費減額申請資格基準を廃止する。

修学奨励金給付基準変更

修学奨励金給付基準第2条を改定し、修学奨励生の資格を（1）生活保護（2）進生活保護（3）児童福祉施設入所等とし、基準を明確にした。運営規則による、「その他特別の事情で学資の支弁が困難な者」については変更なし。

安全・健康

作文コンクール

作文コンクールは県立高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部の生徒を対象に実施された。

応募数は940編（18校）で、今年度の入賞作品を次のように決定した。



最優秀賞2編は『安全振興会のご案内』（2019年度版）に掲載した。会報第73号（9月発行予定）にも選考委員の講評とともに掲載する。また、この2編は12月1日の神奈川県立高等学校PTA連合会大会で本人による朗読が行われた。

最優秀賞（2編）

加藤碧梨（大和西）

「小さなボタンが救った命」

郷右近夏海（大船）

「私が死んだら助かる命」

優秀賞（7編）

森田奏、道谷優里（以上、大和西）、吉村柚那（港北）、佐々木真白（上溝）、半澤詩英菜（上鶴間）、菊池理沙（二俣川看

生徒の提言

護福祉）、大石桜子（麻溝台）
佳作（40編）

和田蓉子、大越爽生、志村華、千葉楓樹、佐藤穂乃花、小嶋菜月、森香穂理、横山璃歩（以上、港北）、佐藤夕希（神奈川県立工業・定）、石田鼓音、菅原心菜、中村未来（以上、横浜清陵）、中谷由希、平山來未、高野好生、大本愛美、大山礼夢（以上、麻生総合）、佐藤杏香（二宮）、本館怜奈、足立龍（以上、秦野総合・定）、富長紗来、矢川紗和子、矢野本子、水野桜、上野駿介（以上、大和西）、大溝くるみ、石塚美優、古城匠、川崎日愛那（以上、上溝）、加藤涼風、大谷紗、安西優香、引野真優、藤田滂（以上、麻溝台）、矢野実咲、林くるみ、村田佑美、栗島里佳、西森美海、太田萌（以上、上鶴間）

ポスターコンクール

ポスターコンクールは県立高等学校文化連盟美術・工芸専門部会への委託事業として実施され、県下公私立高校から113点（10校）の応募があった。審査の結果、次のように入賞者を決定し、1月13日の県立高等学校総合文化祭閉会式

で表彰した。また、最優秀作品の2点を原画としてポスターを作成した。

最優秀賞（2点）
〔安全推進月間〕
梅津舞（相洋）
〔作文募集〕
高橋奈々（横須賀総合）

優秀賞（10点）
氏家朱里、尾崎千歳、岸田雪香、仲間翔太郎（以上、白山）、濱田楓、鈴木美梅、高木美羽、武田芽依、翠川萌夏（以上、横須賀総合）、松崎成也（上矢部）

佳作（10点）
松本理沙、根本純伶、横山由莉（以上、横浜隼人）、仙波百桃子（上矢部）、岡崎美紅、安田萌、渡辺絃加（以上、白山）、田村美琴、高橋亜矢奈、本田琴音（以上、横須賀総合）



高橋奈々さん（横須賀総合）

梅津舞さん（相洋）

一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会
横浜市中央区山下町一番地シルクセンター三二六号室
電話045-114-1189/FAX045-114-1190
URL <http://www.kanagawa-hsanzen.or.jp>